

## 令和4年度学校評価報告書

北海道旭川西高等学校

## 1 本年度の重点目標

- (1) 授業改善や探究活動等の充実を図ると共に、組織的な指導によって学力を高める。  
 (2) 自らの生き方を考え、進路を選択できる力や態度を育む。  
 (3) 生徒の主体的な活動の充実を図り、望ましい人間関係を形成できる生徒を育てる。  
 (4) 安全で安心できる活動を通して、体力の向上を図る。

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教育目標 経営方針	教育目標、重点目標について、教職員アンケートでは全ての教員が、概ね十分以上としており、保護者アンケートにおいても87%、86%と高い評価を得た。業務精選と効率化による教員の負担軽減と教員の指導力向上を図ることにより、学校の教育活動を一層推進していく必要がある。	教育目標・経営方針の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ妥当である。  ・生徒はのびのびと学校生活を送っており、先生方も部活動休養日を増やすなど働き方改革を進めていただきたい。
改善方策	(1) 分掌・学年での更なる業務の精選と業務の平準化を図る校内体制を構築する。 (2) 計画的かつ効率的な会議等を通して、情報の共有と協働的な取組を推進する。 (3) 週休日の振替や変形労働時間制等を活用し、時間外在校等時間の縮減を図る。	
学習指導	教職員アンケートでは、授業の指導方法の工夫改善、生徒の学習意欲と学力向上について、94%が概ね十分以上の結果であったが、保護者アンケートでは概ね十分以上は74%、不十分が26%の回答を得た。生徒アンケートにおいても「自ら学び自ら考える力と学力の向上」について概ね十分以上は77%、不十分が23%であった。BYODを活用した授業改善を図り、基礎学力の向上と主体的で対話的な深い学びをさらに推進していく必要がある。	学習指導の「自己評価と取組」は、ほぼ妥当であり、「改善方策」は、ほぼ適切である。  ・オンライン授業等を更に充実させ、授業を欠席した生徒に対する指導を継続していただきたい。 ・教員の指導力向上を推進していただきたい。
改善方策	(1) 職員会議の効率化により、BYOD活用に係わる校内研修や授業研究の時間を確保し、教員の指導力向上と授業改善を推進する。 (2) 観点別評価の在り方について、教員から情報収集を行い、校内の共通理解を通して改善を進めながら生徒の学習意欲の向上を図る。 (3) 生徒の学習習慣を定着させるためにGoogle Classroomの工夫改善を図る。	
進路指導	教職員アンケートでは進路実現の意欲向上について概ね十分以上が94%、保護者アンケートでは80%であった。生徒アンケートでは92%であり、「先生方は面談等を通して進路情報や適切なアドバイスを行ってくれる」については95%が概ね十分以上としていた。教職員一人一人の親身な指導がなされており、学年・教科とキャリアグループの連携による組織的な進路指導を継続していく。	進路指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともに適切である。  ・十分な進路指導がなされており、保護者への進路情報の提供をさらに充実させていただきたい。
改善方策	(1) 卒業生が現役生徒へ助言する卒業生サポーター制度を活用し、キャリア教育の充実を図る。 (2) 道内大学訪問の実施、教職員のWEB研究会一斉参加の機会設定し、進路に係わる指導力の向上を図る。また、分掌を中心に調査書等の書類作成等の業務の効率化を図り、効果的な進路指導を推進する。 (3) 保護者への情報提供を充実させ、家庭と連携した進路指導を継続していく。	

生徒指導	<p>教職員アンケートでは、「自律性や社会性を身に付け、責任を持って行動できる生徒の育成」について89%、保護者アンケートでは85%が概ね十分以上であった。また、生徒アンケートにおいて、「悩みや困ったことがあったとき、いつでも先生に相談することができる」について83%が概ね十分以上であったが、不十分とする生徒も17%いるため、教育相談体制の改善を図り、支援委員会を中心とした組織的な取組みを継続していく。いじめの未然防止やいじめの事故に対する組織的な対応についても、ライフサポートグループと学年の連携を密にした取組みを継続していく必要がある。</p>	<p>生徒指導の「自己評価と取組」は、妥当であり、「改善方策」は、ほぼ適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒は、先生とは気軽に話せる雰囲気があるが、一方で、深刻な悩みを相談し、サポートする場をさらに充実させていきたい。</li> <li>・不十分とする17%の子供たちの悩みが何かを先生達が把握する必要がある。</li> </ul>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) いじめの未然防止に向けた情報共有の継続と</li> <li>(2) 支援委員会を中心に特別な配慮を要する生徒について外部専門機関、スタディサポートグループと連携し支援を継続していく。</li> <li>(3) 本校の「元気チェック」の他、新たな生徒理解調査を実施し生徒理解を深めていく。</li> </ol>	<p>に係わる指導の強化を図る。</p>
健康安全指導	<p>健康安全および生命を尊重する指導について教職員アンケートでは概ね十分以上が96%以上、保護者アンケートにおいても88%であった。新型コロナウイルス感染症により、防災訓練等の内容が不十分な面があったため、ライフサポートグループと学年の連携の下に取組みを見直していく必要がある。</p>	<p>健康安全指導の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともにほぼ妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏季略装やセーター着用など、気候に合わせた制服の在り方について検討していただきたい。</li> </ul>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 実効性のある避難訓練や防犯訓練を実施し、安全行動に対する生徒の意識と教員の指導力向上を図る。</li> <li>(2) 公共交通機関の利用や自転車の乗り方についての指導を強化し、交通事故等の未然防止に努める。</li> <li>(3) スマホの利用や制服など校則に関するアンケートを実施し、生徒会と連携しながら生徒が主体的に規範意識を高める態度を向上させる。</li> </ol>	
理数教育	<p>S S Hの特色を発揮した教育活動について、教職員アンケートでは概ね十分以上が98%であった。保護者アンケートでも80%と高い評価を得ているが、「よくわからない」という回答が16%があるため、S S Hの活動を理解してもらう取組みが必要である。また、生徒アンケートの「S S H高としての探究的な学びは楽しく、自分の思考力や表現力、コミュニケーション能力が向上したと思う」について、87%が概ね十分以上であったが、一部の生徒では不十分という結果が得られた。全ての生徒が思考力、表現力、コミュニケーション能力の向上を実感できるよう、探究的な学習についてさらに課題改善を図る必要がある。</p>	<p>理数教育の「自己評価と取組」、「改善方策」は、ともに適切である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の「やらなければならない」ことの多さと「やりたいこと」にかける時間とのバランスが大切である。生徒には余裕（考える時間）が必要であることを踏まえて指導を継続していただきたい。</li> </ul>
改善方策	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学校HP、SNS等での積極的な情報発信を継続し、地域・保護者への周知と理解を図る。</li> <li>(2) 探究活動支援TA、3年生メンターの他に「社会人アドバイザー」として地元企業などの地域人材によるサポート体制を推進する。</li> <li>(3) 市のイベント参加や発表会参観の促進により旭川市や地元企業との連携を大きく進捗できたことから、次年度も継続していく。</li> <li>(4) テーマ決定の初期段階に市やJC（青年会議所）など外部機関から指導・助言をいただき、普通科中間発表会を「研究テーマ・プラン発表会（仮称）」として7月に実施する。さらに、研究テーマや活動の方向性についての検証と12月発表会までの研究支援を依頼し、探究的な学習の発展を図る。</li> <li>(5) ポートフォリオや課題解決能力テストの活用を通して生徒の資質能力の向上を図る。</li> </ol>	

開かれた学校づくり	<p>広報活動について教職員アンケートでは不十分が41%、保護者アンケートでは、不十分およびよくわからないが29%であった。PTA活動については、教職員アンケートで不十分が28%、保護者アンケートでは不十分およびよくわからないが30%であった。新型コロナウイルス感染症による各行事等の変更や縮小が影響していると考えられる。マネジメントグループを中心に、地域・保護者への情報発信について改善を図る必要がある。</p>	<p>開かれた学校づくりの「自己評価と取組」、「改善方策」は、ほぼ妥当である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPの活用やPTA活動も不十分を感じる。HP作成など広報活動を生徒に手伝ってもらう方法も検討していただきたい。</li> <li>・PTA活動の内容を、より多くの保護者に理解してもらう方策を進めていただきたい。</li> </ul>
改善方策	<p>(1) 学校HPの改善や学校配信メール、SNSを活用し、学校生活の様子や行事のトピックを画像で掲載するなど本校の活動内容を積極的にアップロードしていく。</p> <p>(2) PTAとの連携を密にし、PTA活動に関して早期の連絡に努めていく。</p> <p>(3) オープンスクールや学校説明会での運営や内容について見直しを図り、中学生にとって魅力ある取組みにしていく。感染症による参加人数の制限が改善された場合は保護者の参加も促進し、本校の教育活動の周知と理解に努めていく。</p>	
公表方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員会、PTAの役員会等での公表及び本校ウェブページでの公開。</li> </ul>	

3 添付資料 1 学校関係者評価、2 教職員アンケート、3 保護者アンケート、4 生徒アンケート